

平成24年度病虫害発生予察予報第6号(9月)

平成24年9月5日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
水 稲 ＜普通期稲＞	いもち病(穂いもち) 紋枯病 ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ トビイロウンカ フタオビコヤガ コブノメイガ 斑点米カメムシ類	やや多 並 やや少 少 やや多 並 やや多 少 並
カンキツ	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	並 並 並 並 少
施設野菜類	ハスモンヨトウ タバコガ・オオタバコガ コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	並 並 やや多 やや多

I 気象予報(高松地方气象台 8月31日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞ 8月31日から9月30日

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は高い確率50%です。

＜確率＞

(単位:%)

期 間	要 素	予報対象 地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1か月	気 温	四国地方	30	30	40
	降 水 量		40	30	30
	日照時間		30	30	40
1週目	気 温	四国地方	10	40	50
2週目			30	40	30
3～4週目			30	40	30

＜予報の対象期間＞

1か月 :9月 1日(土)～ 9月30日(月)

1週目 :9月 1日(土)～ 9月 7日(金)

2週目 :9月 8日(土)～ 9月14日(金)

3～4週目: 9月15日(土)～ 9月28日(金)

II 病虫害発生予想

1. 水稻(普通期稲)の病虫害

1) いもち病(穂いもち)

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

(1)8月下旬の巡回調査では、県中央部～中西部で葉いもちが多発生、西部では平年並の発生で、一部のほ場で進展型病斑も見られた。

(2)向こう1か月の気象予報によると、晴れの日が多いと予想されることから、病徴の大きな進展はないものと予想されるが、現状の発生量が多く、今後の天候によっては、穂いもちの発生も懸念されることから、発生動向に十分注意を要する。

対 策

(1)気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら収穫前使用日数に留意し、まわりへの飛散防止に努めながら速やかに薬剤散布を行う。

2) セジロウンカ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

(1)巡回調査では、県内全域で発生が見られ、特に県西部での発生が平年に比べて多発生である。

(2)向こう1か月の気象予報から、増加傾向で推移することが予想される。今後の発生動向に注意が必要である。

対 策

(1)成虫密度が株当たり5頭以上になったときは、周辺作物への飛散防止に努めながら、使用

時期
に注意して薬剤防除を行う。

3) トビイロウンカ

予想 発生時期:並 / 発生量:並
根拠

- (1) 8月の巡回調査では、県東部～中央部で発生見られたが、高密度の発生ではない。
- (2) 向こう1か月の気象予報は増殖に好適な条件であると思われが、現状の発生状況から今後急激な増加はないと予想される。しかし、九州地方では警報も出ている県もあることから、今後の発生動向には注意が必要と思われる。

対策

- (1) 常発地帯では発生に注意し、増加の兆候が認められたときは、周辺作物への飛散防止に努めながら、使用時期に注意して薬剤防除を行う。

4) 斑点米カメムシ類

予想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根拠

- (1) 8月中下旬のすくい取り調査では一ほ場当たり平均虫数 13.2 頭で、平年並の発生であるが、全栽培面積の約 77%のほ場で発生しており、またクモヘリカメムシやミナミアオカメムシなどの大型カメムシが優占種であることから、斑点米の発生が懸念される。
- (2) 向こう1か月の気象予報では晴れの日が多いと予想されることから、やや増加傾向で推移するものと思われる。

対策

- (1) 斑点米の発生を防ぐため、発生を認めたら周辺作物への飛散防止に努めながら使用時期に注意して薬剤防除を行う。

2. カンキツの病害虫

1) 黒点病

予想 発生時期:並 / 発生量:並
根拠

- (1) 巡回調査では、県全域の温州みかん、中晩柑類ともに発生が認められるが、西部の中晩柑類(文旦)で多発生の他は、平年並の発生。
- (2) 向こう1か月の気象予報によると、病徴の増加要因は少ないと考えられるため、現状の平年並で推移すると予想される。

対策

- (1) 密植園の間伐、老木の更新、防風林の整備等を行い、次年度の感染源となる枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除からの累積雨量が 250mm を超すか、25日以上経過すれば次の薬剤散布を行う。

2) ミカンハダニ

予想 発生時期:並 / 発生量:並
根拠

- (1) 巡回調査では、発生面積は平年並であるものの、程度の高い地域も見られる。
- (2) 向こう1か月の気象予報では晴れの日が多いことが予想され、増加傾向で推移すると予想される。

対策

- (1) この時期のミカンハダニは 30%の寄生葉率を目安に、薬剤抵抗性を防ぐために違う種類の薬剤をローテーションで使用する。その際は、周辺作物への飛散防止に努めながら、かけむ

らがないように丁寧に散布する。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. **病虫害防除所ホームページ**（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujosho/>
 - ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
 - ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
 - ③病虫害発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病虫害 etc.
2. **こうち農業ネットサービス*** ※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ezweb）
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ヤフー）
 - ①病虫害発生予察情報（概要）